

授業科目名		担当講師名		対象学年	
社会の理解 I		大津 敬		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	1 年生教室	前期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、社会福祉士として実務経験のある教員による講義。				
授業のキーワード	社会保障 介護保険制度				
到達目標及び及び 事前学習	従来、個人や家族間で行われてきた「支援」を、現在は「社会」が中心となって行っている理由を自分なりに整理し、その理由を理解する。その理由に対して、自分なりの意見を表明できるようになることが課題である。また、考えや意見はその時点での正解を求めるよりもディスカッションを通して新しい階段に考えて発展させることを課題とする。尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性を理解する。				
授業計画 (コマ)	授 業 内 容				
1	第1章 社会と生活のしくみ				
2	個人の暮らしを理解するため、地域社会の単位で人間を捉える視点を養う。				
3	自助から公助に至る過程について理解するための学習とする。				
4	ライフスタイルお変化について				
5	少子高齢化と健康寿命について				
6	第2章 地域共生社会の実現に向けた制度や施策				
7	個人の暮らしと生活のあり方を社会福祉との関連で捉える。				
8	社会保障制度から介護保険制度など社会における様々な諸制度における歴史や変遷、見直しなどを総合的に理解する。				
9	地域共生社会をめざす社会的背景				
10	地域包括ケアとは				
11	第3章 社会保障制度について				
12	社会保障の意義と役割について				
13	社会保障の目的と機能について				
14	社会保障制度の歴史を学ぶ				
15	介護保険と福祉の考え方の変化				
履修上の要件					
テキスト、教材、 参考書	教科書「社会の理解」(中央法規)				
使用機器等					
成績評価の方法	授業におけるミニテスト、授業態度				
備考					

